

パ - ミクロンパテ

ビ - オ - ケミカル株式会社

1. 用途

ジョイント部間隙、溝、孔、ボルト頭等の被覆充填防食

2. 特長

- (1)エポキシ樹脂系二液型のパテ状で、作業性、接着性に優れている。
- (2)無溶剤型で、硬化物は収縮がなく、可とう性がある。
- (3)耐水性、耐油性に優れている。

3. 性状

	外観	配合比	密度(g/cm ³)	可使時間	乾燥時間
主 剤	白色パテ状	1	1.5	30分	24時間
硬化剤	暗褐色パテ状	1			

4. 性能

試験項目	試験方法	試験結果
引張せん断接着強度	JIS K 6850 鉄板	7 ~ 8 N/mm ²
曲げ接着強度	JIS K 1106 コンクリート	2 ~ 3 N/mm ²
引張強度	JIS K 7113	3 ~ 4 N/mm ²
伸び率	JIS K 7113	50 ~ 60%
耐水性	水道水 1ヶ年	異常なし
耐油性	重油 1ヶ年	異常なし

(注) 養生 20 7日間

5. 使用方法

(1)素地調整

- 附着物・ゴミ等の異物は除去する。
- 発錆箇所はディスクサンダーその他電動工具を用い、2種ケレン程度に処理する。
- 活膜は表面の目荒しを行い、ルーズな旧塗膜は除去する。
- 塩分の附着があるときは、清水で水洗を行う。
- 油分はシンナーで除去する。
- 水分はウエス等で、出来るだけ拭きとる。

(2)混 合

- ポリエチレン製の手袋の上に、更に軍手を着用し、水に軽く濡らす。
- 主剤と硬化剤を1:1の割合にとり、均一な色になるまで手で十分に混ぜる。

(3)被覆充填

- 手又はヘラ等で被覆充填シールする。
- 表面はヘラ又は濡れた軍手で平滑に仕上げる。

(4)可使時間

- 混合後は短時間で硬化が進むので、可使時間内に使用する。
- 施工工程を考慮し適当量混合する。

6. 容 量

- 20Kgセット (主剤 10kg 硬化剤 10kg)
10Kgセット (主剤 5kg 硬化剤 5kg)